

## シード・アーリー期の世界に羽ばたく日本の技術系スタートアップを発掘

### 「J-TECH STARTUP 2022」認定企業6社が決定

認定式及びトークカンファレンス「第7回J-TECH STARTUP SUMMIT」2023年2月16日(木)に開催

日本のトップレベルの技術をビジネス化し普及させることを目的とする技術系スタートアップの支援組織「TEP」(正式名称:一般社団法人TX アントレプレナーパートナーズ、代表理事:国土 晋吾)は、成長が期待されるシード・アーリー期の技術系スタートアップ「J-TECH STARTUP 2022」(ジェイテック スタートアップ2022)の認定企業6社が決まったことをお知らせします。



TEPが主催する「J-TECH STARTUP」は、技術をビジネスのコアコンピタンスとした事業で、グローバルな成長が期待される国内の技術系スタートアップを「J-TECH STARTUP」銘柄として選定し、その後の事業成長を後押しする取り組みです。「J-TECH STARTUP 2022」認定企業には、ベンチャーキャピタル(以下、VC)等からの出資前の企業を対象とした「シード枠」で3社、VC等から出資を受け、資本金3億円以下の「アーリー枠」から3社を選出しました。選出にあたっては、一般公募および支援組織等からの推薦を含め、ご応募いただいた企業の中から、書類審査、オンライン面談による審査により、「事業の革新性」「経済的な発展」「社会的影響力」「事業の実行力」の面から評価を行いました。

2023年2月16日(木)には「第7回J-TECH STARTUP SUMMIT」イベントを開催し、認定企業には公開プレゼンをしていただき、認定証を授与いたします。さらに共催として参画している一般社団法人日本能率協会(以下、日本能率協会)との共同企画として、ゲストにTakeoff Point 石川洋人様をお迎えしたパネルディスカッションや、『日本能率協会 産業振興賞』の選出・授与も予定しています。

さらに日本能率協会が企画運営するイノベーション創出のための情報サイト「JMA GARAGE」(<https://jma-garage.com/co-creation/tep/>)にて、歴年のJ-TECH STARTUP認定企業の紹介に並び、本年の認定企業についても記事化が決定しており、J-TECH STARTUP認定企業と日本能率協会の会員企業との事業共創に繋げていく予定です。

イベントでは、これまで13年にわたりシード・アーリー期の技術系スタートアップ支援に取り組んできたTEPが選出した、これからの飛躍が期待される技術系スタートアップのプレゼンをまとめて聞いて頂ける貴重な機会となりますので、技術系スタートアップの方や、起業を志す研究者の方はもちろん、有望な投資先・提携先を探したい大手企業や投資家の方にもおすすめです。お時間がある方はぜひご参加ください。

チケットの申し込みはこちら: <https://j-tech20230216.peatix.com/>

## ■J-TECH STARTUP 2022認定企業

### 【シード枠】ベンチャーキャピタル等からの出資前の企業

#### 株式会社ツインカプセラ

「再突入カプセルの“超”断熱保冷技術を 地上へ 社会へ」

ツインカプセラは、JAXAが宇宙ステーションからの物資を回収するために開発した再突入カプセル断熱保冷容器技術の社会実装を目指すJAXAベンチャーです。小型・超高性能の保冷コンテナの開発・供給により、検体、ワクチン、医薬品、生体組織等の個別化保冷輸送を可能とし、癌等の早期スクリーニング、分散型臨床試験等、バイオメディカル分野の輸送において新たなサービスを創出します。

(URL) <https://twincapsula.co.jp/>



#### 株式会社fcuro

株式会社fcuroは「徹底的な現場起点技術でpreventable deathをなくす」を使命に掲げ、画像診断AIを中心とした救急AIシステムの研究開発・提供を行っています。

主なプロダクト

- ・全身検索型画像診断AI「ERATS (ER Automated Triage System)」
- ・COVID-19診断AIモデル

(URL) <https://fcuro.com/>



#### ルラビオ株式会社

ルラビオ株式会社は畜産業向けに雌雄産み分け技術を開発しています。特に養豚産業において、種豚生産の効率化、肉豚生産では成長効率の高い雄による環境負荷とコストの低減、去勢不要な雌によるアニマルウェルフェアの実現をすべく研究・開発をしています。世界的には今後も食肉は増加すると予測されていることから、他の技術とは異なるアプローチで、これらの課題を解決することで持続可能な養豚産業を目指しています。



### 【アーリー枠】VC等から出資を受け、資本金3億円以下・従業員50名以下の企業

#### InnoJin株式会社

私たちは医療のデジタルトランスフォーメーションに取り組む大学発ベンチャーです。Society5.0におけるヒト中心の医療の実現に向け、ドライアイや花粉症に対するスマホアプリ型プログラム医療機器、VR・XR技術を用いた医療機器の開発や、オンライン診療普及に向けた事業を行っております。

(URL) <https://innojain.co.jp/>



## 株式会社Piezo Sonic

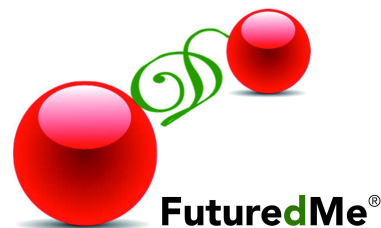
株式会社Piezo Sonicは「高齢や病気になっても楽しく生活できる社会」をロボット技術によるサポートで実現することを目指し、モーターとロボットの開発・製造・販売、製品の開発支援・コンサルティングを行うハードウェア スタートアップです。創業者は超音波モーターの開発、研究に27年以上携わっており、その経験を活かして超音波モーターの課題であった長寿命化を実現し、ピエゾソニック モーターとしてMRI用医療機器や精密搬送装置、ロボットの分野に展開しています。



(URL)<https://www.piezo-sonic.co.jp/>

## 株式会社FuturedMe

未来の個別化医療(ゲノム医療)に貢献するために、代表者が東京理科大学で発明した革新的な分解創薬技術CANDDYを活用し、これまで薬のなかった標的(アンドラッグターゲット)に対して薬をつくり、薬がないことで治療をあきらめる患者さんが一人でも少なくなることを目指しています(No patients without medicine)。創薬のゲームチェンジャーとして、アンドラッグターゲットを自社創薬するパイプライン事業と、製薬会社と協業して解決するプラットフォーム事業を展開していきます。



(URL)<https://futuresdme.com/jp/#secMV>

### ■「第7回J-TECH STARTUP SUMMIT」について

技術をビジネスのコアコンピタンスとした事業でグローバルな成長が期待されるスタートアップを「J-TECH STARTUP 2022」として認定し、認定証授与とともに認定企業のプレゼンやトークセッションが行われる「第7回J-TECH STARTUP SUMMIT」を2023年2月16日(木)に開催いたします。

#### ◇「第7回J-TECH STARTUP SUMMIT」開催概要

- ・日時 2023年2月16日(木)13:30~18:30(予定)
- ・URL <https://j-tech20230216.peatix.com/>
- ・開催方法 ハイブリッド開催(現地・オンライン併用)
- ・会場 浅草橋ヒューリックホール  
(〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16ヒューリック浅草橋ビル2階 HULIC HALL)
- ・主催 一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ
- ・共催 一般社団法人日本能率協会
- ・後援 経済産業省関東経済産業局  
独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部  
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)  
国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)  
国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)  
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
- ・協力 三井不動産株式会社

### ■プログラム(予定)

- 13:30 開会挨拶
- 13:40 J-TECH STARTUP 2022認定企業プレゼン(シード枠)  
株式会社ツインカプセラ  
株式会社fcuro  
ルラビオ株式会社
- 14:16 J-TECH STARTUP 2022認定企業プレゼン(アーリー枠)  
InnoJin株式会社  
株式会社Piezo Sonic  
株式会社FuturedMe
- 15:05 招待講演:石川 洋人 (Takeoff Point 執行役 社長)
- 15:25 パネルディスカッション  
＜パネラー＞ 石川 洋人 (Takeoff Point 執行役 社長)  
岡田 直己 (株式会社fcuro 代表取締役CEO) ※予定  
宮本 悦子 (株式会社FuturedMe 代表取締役CEO)  
國土 晋吾 (一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ 代表理事)
- ＜モデレーター＞松田 将寿(Transformation Consulting合同会社 CEO Management Consultant)
- 16:40 認定証授与
- 16:55 日本能率協会 産業振興賞 発表・授与
- 17:00 閉会挨拶

## ■パネルディスカッション 登壇者



パネラー:石川 洋人 Takeoff Point 執行役 社長

慶應義塾大学経済学部卒業後、米JPモルガンに入社し、投資銀行業務に従事。その後、ソニーに入社し、海外事業を担当。ミシガン大学でMBA取得後、CEO/CFOのスタッフとしてソニーの構造改革を推進。2015年にTakeoff Pointを米国・シリコンバレーに設立。新規事業・スタートアップに対するビジネス支援や人材育成サービスを提供しながら、複数の社会課題解決事業を日米で立ち上げ、事業運営を行っている。その他、複数のアクセラレーターでアドバイザーを務めながら、日米の大学・高校で非常勤講師としてアントレプレナーシップ教育にも携わっている。



パネラー:岡田 直己 株式会社fcuro 代表取締役CEO ※予定

慶應義塾大学医学部卒業後、高度救命救急センターでの勤務経験を持つ救命医・外科医。日本救急医学会AI研究活性化特別委員会委員。第1期末踏AI frontier program 政府認定 path finder (救命)。2020年度末踏アドバンスト事業イノベータ。救命現場に研究開発技術を実装するためfcuroを設立。



パネラー:宮本 悦子 株式会社FuturedMe 代表取締役CEO

東京理科大学卒業後、日本IBMを経て、東芝情報通信研究所にて高機能材料の研究に従事。2000年4月から約10年間、慶應義塾大学にてゲノムネットワークプロジェクトなどに参画し、准教授を経て、2011年4月から、東京大学医科学研究所にインタラクティブ医科学社会連携部門を立ち上げ部門長に就任。2014年10月より東京理科大学にてJST-START宮本



プロジェクトなどを経て、2018年6月に、未来の個別化医療(ゲノム医療)時代の多様な個の治療薬のための新規創薬モダリティであるCANDDY技術を土台とした(株)FuturedMe設立、2019年4月より教授職と取締役を兼任。2022年4月、FuturedMeの代表取締役CEOに就任し、東京理科大学薬学部客員教授を兼任。



パネラー: 國土 晋吾 一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ 代表理事

インテルジャパンに入社し、半導体開発やテスト、ASSPの製品企画、マルチメディア事業の推進などに従事。1997年にNuCORE Technology社を米国シリコンバレーで共同創業し、同社副社長兼日本法人代表に就任。同社をMediaTek社に買収後、メディアテックジャパン執行役員。新規事業開発に従事して中長期戦略・事業計画を策定。2012年よりNS マテリアルズ取締役を務める。2009年にTEP(一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ)に参画。2014年にTEP 代表理事に就任。



モデレーター: 松田 将寿 Transformation Consulting合同会社 CEO Management Consultant

1994年、日本能率協会コンサルティングに入社以後、経営コンサルタントとして現在まで28年の実績を持つ。2019年Transformation Consulting合同会社(経営コンサルティング)設立。経験領域は製造業(業種は多数)を中心に戦略領域～現場改善まで経験、海外のコンサルティング経験も豊富でタイ国では国家研究期間、国立工科大学など複数の国立大学経営改革、現地有名企業での長期支援実績(トランスフォーメーション)もある。イノベーション関連テーマも支援してきたが、外野としてもものを言うだけでは説得力がないと2019年の独立同年末にシステム開発会社と共同でトラストレーションズ株式会社を設立(ベンチャー)し活動推進中。

## ■特別賞

### 1. 『日本能率協会 産業振興賞』

J-TECH STARTUP SUMMIT 2022では『日本能率協会 産業振興賞』の授与を予定しています。『日本能率協会 産業振興賞』は、共催である日本能率協会主宰の技術関連のネットワークである日本CTOフォーラム(※)を中心に、10社前後の企業の皆様にJ-TECH STARTUP SUMMITにご参加頂き、J-TECH STARTUP認定企業のプレゼンテーションをご覧いただいたのち、「最も革新的であり、自社との連携・協業の可能性が最も高い企業」に送られる賞です。なお、本賞の選出にご参加の企業は、追って公開予定です。

【ご参考:2021年度『J-TECH STARTUP 日本能率協会 産業振興賞』選出参加企業】※順不同・敬称略

株式会社SCREENホールディングス／ジヤトコ株式会社／味の素株式会社／日揮グローバル株式会社／株式会社ヨタシステムズ／日本工営株式会社／KHネオケム株式会社／昭和電工株式会社／日本特殊陶業株式会社／三井不動産株式会社

※日本CTOフォーラム:日本を拠点に活動する代表的な企業のCTO(最高技術責任者)が、これからのモノづくり、コトづくりのあり方やイノベーションについて、本音ベースの意見交換を行い、共通の課題解決をめざす、日本能率協会運営の組織体です。

※本年の参加企業については確定次第公開いたします。

### 2. 『KOIL賞』

本イベントにご協力頂いている三井不動産株式会社様より、本年度のJ-TECH STARTUP認定企業全社に対し、

「柏の葉オープンイノベーションラボ(KOIL)」(<https://www.koil.jp/>)の1年間無料利用権が授与されます。

## ■「J-TECH STARTUP」創設の趣旨

インターネットを使ったSNSやECサイト、ゲームなど様々なサービスが、我々に多くの利便性や新たな価値を生み出しています。それらを実現するアプリケーションは、比較的短期間で製品開発が可能で、日本でも成功例や支援方法が確立されつつあります。一方、それらを支える基幹技術である高速通信やAIエンジン、CPU/GPU 技術などに代表されるDeep Tech(コア技術)は、裏方的で理解が難しく、製品化までに時間と人的リソースが多くかかります。そのため、事業化リスクが高く投資等のサポート体制は十分とは言えません。

しかし、基幹技術である Deep Techなくしてアプリケーションは成り立ちません。アプリケーションと Deep Techは車の両輪であり、相互の発展によって真の価値や利便性を社会にもたらす事が出来ます。このようなことから、シリコンバレーでは、サービス系技術を提供する会社への集中的な投資から、AI、IoT、バイオ、宇宙、エネルギーなどのDeep Tech への投資が積極的に行われています。

「J-TECH STARTUP SUMMIT」は、Deep Tech スタートアップを「J-TECH STARTUP」として認定、紹介を行なうことで、Deep Techスタートアップに焦点を当て、重要性を注目し、スタートアップのサポート体制を確立するために必要なことを議論していきます。そして本イベントを通じて、スタートアップと大企業や支援組織とのネットワーキングを行い、技術系スタートアップ成長のためのエコシステム構築を目指します。

## ■主催

一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ(TEP) (<https://www.tepweb.jp/>)

TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)は、日本のトップレベルの技術をビジネス化し普及させることを目的とする技術系スタートアップ企業の支援組織です。コア技術を持ち、そのビジネス化を目指すリアルテック・スタートアップ企業を中心に、起業・経営経験が豊富なエンジェル投資家、専門的アドバイスが可能なメンター、スタートアップ起業との連携を望む大手企業らを会員として組成しています。現在は、大学や研究機関、地域行政、そして海外の同様のスタートアップコミュニティにもネットワークを広げており、世界でも有数の技術系スタートアップ企業のエコシステムとなっています。

## ■共催

一般社団法人日本能率協会 (<https://www.jma.or.jp/>)

日本能率協会は「経営革新の推進機関」として1942年に設立しました。産業界の健全な発展を先導すべく、現在から将来にわたる経営課題や社会課題について、産業界と共に考え、革新の方向を探っています。現在、「人材育成・組織開発」「ものづくり支援」「産業振興」「ISO審査・第三者認証」の4事業によって、あらゆる経営課題解決を支援しています。重点活動としては「KAIKA」「アジア共・進化」の2テーマを掲げ、新たな領域に挑戦しています。長年取り組んできたマネジメントに関する調査・研究と約1,350社・団体からなる会員ネットワークをベースに、常に高品質で実践的なサービス提供を行っています。

【本イベントに関するお問い合わせ先】

TEP事務局 / E-MAIL: [contact@tepweb.jp](mailto:contact@tepweb.jp)

TEP広報窓口 早瀬/TEL: Story Design house内03 6759 8989 E-MAIL: [pr@storydesign-h.com](mailto:pr@storydesign-h.com)